



学校通信

豊地っ子だより

～ 考える子 はげましあう子 つよい子 ～

令和8年9月1日

No. 5 三木市立豊地小学校

<http://www.miki.ed.jp/el/toyoti/>



2学期のスタートにあたって

■ 夏休みの経験を2学期へ

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。

夏休みには、全校児童が細川町夏まつりに参加し、地域を盛り上げました。また、ボランティア活動に参加したり、科学作品やポスター、読書感想文などの課題に取り組んだり、それぞれが充実した日々を過ごしたと思います。家族や地域の方々との関わりを通して、学校では学べない多くの経験も積むことができたのではないのでしょうか。

こうした夏休みの頑張りの経験は、一人一人の成長につながる大切な財産です。2学期は自然学校や修学旅行、学習発表会など、多くの行事があります。夏休みに培った力を発揮し、さらに成長した姿を見せてくれることを期待しています。



■ 変化の中で考えること

7月28日には熊本地方で震度7強の大きな地震が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願っています。兵庫県からも EARTH 隊員が派遣され、学校施設の復旧支援などに尽力しています。

楽しい夏休みになるはずだった日常が一変し、多くの方々が困難な状況に置かれました。しかし、その中でも人々が助け合い、自分にできることを精いっぱい行っている姿に大きな力を感じます。

私たちも、いつ起こるか分からない変化や困難に対して、周囲と協力しながら前向きに行動できる力を身に付けていきたいと思います。

■ 豊地小学校の未来に向けて

さて、豊地小学校でも大きな変化があります。新聞報道にもありましたように、令和10年度に三木小学校と統合することが決定しました。

統合に向けて、これからどのような準備が必要か、子どもたちにどのような力を身につけさせるべきかを考えていかなければなりません。ダーウィンの言葉に「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き残るのでもない。変化に最も適応できる者が生き残るのである」というものがあります。

これからの時代に求められるのは、変化を恐れず、自ら考え行動する力です。本校では、小規模校ならではの温かな人間関係や一人一人を大切にする教育を強みとして生かしながら、多くの人の中でも自分の考えを伝える力、自ら目標を立てて努力する力を育てていきたいと考えています。

そのために、子どもたちが自分の良さや可能性を見つめ、自信をもって挑戦できるよう支援してまいります。また、教職員も豊地小学校の良さを改めて見つめ直し、統合に向けた準備を進めてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には、今後とも温かな見守りとご支援、ご協力をお願いいたします。

校長 勝部 浩子